

■会長/加藤明博 ■幹事/川村総一郎

◆司会=岩波寿亮副S A A

◆ゲストビジター=小林純子課長・飯島恵子係長(諏訪市教育委員会)

◆出席報告

本日	62.0%	19名欠席
前回訂正	84.0%	8名欠席

◆ラッキーナンバー=No.25 宮坂康弘君

◆ニコニコボックス=●加藤明博君・川村総一郎君=小林課長・飯島係長ようこそおいで下さいました。●山本實君=小林課長・飯島係長本日はよろしくお祈いします。●玉本広人君=本日は諏訪市教育委員会の誇る才色兼備のお二人にお越し頂いております。小林さん飯島さんよろしくお祈い致します。●伊藤武利君=数えて51回目の結婚記念日でお花を頂きました。●三澤郁馬君=結婚記念日のお花ありがとうございました。●宮坂康弘君=ラッキーナンバーに当たってありがとうございました。

◆会長告知・加藤明博君=今日はアレルギーの話をしていただきます。私が子供の頃を思い返しますと、学校給食でアレルギーといえば卵か牛くらいのもので、給食を食べ終わるまで片付けさせてもらえなかった記憶があります。しかし今では多くのアレルギーに悩まされる子どもがたくさんあります。私の旅館でも初夏と秋に中学生の修学旅行の受け入れをしますが、実に多くのアレルギーを持ったお子さんがいます。例えば先ほどお話しした卵、牛乳をはじめ小麦そば、大豆、植物油、メロン、スイカ、キウイフルーツなど様々です。今なぜこのように多様なアレルギーがあるのか。昔あって、今あるものは何かと考えると、手軽に食べられるお店が驚くほど多く増えていることに気づかされます。私が子供の頃の夕食といえば、デパートの屋上にあるレストランぐらいでしたが、今では回転寿司、ハンバーガーショップ、牛丼、ピザ店など多種多様にお店があり、しかも大変安価に食べられるようになりました。寿司は大人の社交場から家庭や学生でも気軽に食べられる食文化に変わりました。私の家でのすき焼きは豚肉が主流でしたが、今では牛肉の料理は学生でも小遣いで気軽に食べられる食材に様変わりしています。母親とよそ行き服に着替え、デパートに買い物に行くことが大変楽しかった…これが今は大変懐かしく思います。さらに世の中が大変贅沢になり、ダイエットブームも手伝い、卵はもはやごちそうではなく、栄養満点などといった言葉は死語になっています。昔流行ったオロナミンCを卵の黄身と一緒に飲むCMを今の人たちが見たらどう思うのでしょうか?昔の家庭料理は大変質素でしたが母親の手作りがほとんどでした。年末のおせち料理のときにキンカンや煮豆がよくストーブの上に乗っていたことを思い出しますが、今ではヒーターに変わり、そのような光景もあまり見られなくなりました。また私が子供の頃に花粉症といったアレルギーなどはありませんでした。この花粉症も世の中が便利になったことと関係があるのでは

ないかと思ひます。私が子供の頃の道路はほとんど舗装されておらず、道路は土でした。しかし今はほとんどが舗装されています。道路舗装されていなかった昔はスギなどの花粉はみな土に吸収されていたため、花粉症といったアレルギーがなかったのではないかと考えます。今では舗装されているため、花粉が行き場所を失い、空中に漂い、人に悪さをしているのではないのでしょうか?人は確実に便利なものと引き換えに人が生きていく上での大切なものを失っているのかもしれない。以上です。

◆幹事報告・川村総一郎君=本日の例会はクラブフォーラム「図書贈呈報告」です。担当の山本社会奉仕委員長よろしくお祈いいたします。諏訪市教育委員会から小林純子課長様と飯島恵子係長様にお越し頂いております。後ほど卓話お祈い致します。

去る11月5、6日には地区大会が開催されました。本クラブからはアクト2名を含め総勢15名で参加してまいりました。当日は辛坊治郎さんの講演もあり有意義な一日を過ごしました。参加していただいた会員の皆様ありがとうございました。

●監査報告=2020-21年度諏訪ロータリークラブ決算について、伊藤武利監事より監査報告がなされ、前年度決算が拍手をもって承認されました。

◆クラブフォーラム・図書贈呈報告

●社会奉仕委員会・山本實委員長=本日諏訪市教育委員会から小林課長と飯島係長にお越し頂いております。学校寄贈品の活用状況のお話などをいただけたと思いますので、よろしくお祈いいたします。10月6日に行われました図書贈呈式の報告を行いたいと思います。諏訪ロータリークラブの50周年事業から始まり、次世代を担う人材育成と地域の将来的な発展に貢献したいという事業として本年度も諏訪市教育委員会を通じまして城南小学校と上諏訪中学校にスタンド付きの大型テレビを2台、それと諏訪市内の小中学校に20万円分の図書カードを寄贈しました。贈呈式は城南小学校で行われ、諏訪市教委の三輪委員長など3名、諏訪ロータリークラブから加藤会長など7名が参加しました。式の後は贈呈した大型テレビを使いまして小島拓也会員に30分のWeb講話を行っていただきました。

●諏訪市教育委員会・小林純子課長=「未来創造ゆめスクールプランの進捗状況について」

諏訪市が進めている教育改革であります「未来創造ゆめスクールプラン」の進捗状況について、諏訪市では、社会的な課題である少子高齢化がこの地域においても大きく影響を及ぼしていることに鑑み、将来に向け新たな学校づくりをどうするか検討するために、平成25年度に「諏訪市小中学校あり方検討委員会」を立ち上げ課題を整理しています。課題の1つめは児童生徒数の減少、2つめは生きる力の育成に関わる課題について、子ども社会が狭くなっていることが要因の一つと捉えその解消の必要性を指摘しています。3つ目は、地域の変化、地域コミュニティの希薄化や異年齢の子どもたちの交流が失われつつある傾向を指摘しています。4つ目に、学校施設の老朽化の問題、5つ目に教員数の減少により、一人ひとりの子どもに対し多くの



教員が関わりにくくなっていることや業務負担の増大を指摘しています。これらの課題解決のために、平成30年に「未来創造ゆめスクールプラン基本構想」を策定し、将来の姿として、施設一体型小中一貫教育学校＝義務教育学校を3校配置する方針を示したところでございます。次にこれまでまたこれからのようにこのゆめスクールプランを進めているかについてお話しさせていただきます。令和3年度に、城北小学校と高島小学校を統合し、城南小学校の一部通学区を変更した上諏訪小学校を開校いたしました。そして、隣接する上諏訪中学校と小中一貫教育を開始いたしました。現在市内小中学校の先生方で組織する小中一貫教育の推進エンジンである「小中一貫教育プロジェクト推進委員会」を昨年度から立ち上げ、学力・資質向上分科会と交流分科会で検討を進めてきています。また、すでに隣接型として取組をはじめている上諏訪小学校・上諏訪中学校を参考に、他の3つの中学校区、具体的には、城南小学校・諏訪中学校の東部地区第2期、四賀小学校・中洲小学校・諏訪南中学校の南部地区、豊田小学校・湖南小学校・諏訪西中学校の西部地区の3つの地区ごとに、小中一貫教育の教育目標や目指す児童生徒像、教師像、及び特色ある教育活動等の策定を、すべての教職員が参加の下で進めています。続いて、各分科会における検討内容について報告します。まず、前提として、小中一貫教育学校としてのソフト的な取組の方向性として、小学校6年生がリーダー性を発揮するような生活の段差は残しつつ、学習の系統性、学び方の連続性を図り、学習の段差を低くすること、そして、縦のつながりを9年間へと広げることにより、優しさやあこがれ等心を豊かにすることを大切にしたいと考えています。

学力・資質向上分科会においては、小中の円滑な学びの接続を図るために、「小学校高学年における教科担任制の導入」を検討、研究しています。現在、上諏訪小、城南小、四賀小で取り組んでいる小学校高学年における教科担任制は、多様な子ども1人1人の資質・能力の個別最適な学びを実現する観点からも、学級担任だけでなく複数の教員の目が入ることで、きめ細かな個々の学習状況の把握、指導により、教科指導、評価等のズレを少なくし、学びの質の向上を図るとともに、中学校での教科担任制にも違和感なく接続することができる、昨年度上諏訪小学校や城南小学校の6年生だった児童が上諏訪中学校1年生となった時の感想からもうかがえ、取組の柱の1つと捉えています。また、小中の学習の系統性を大切にしたいジョイントカリキュラムの作成です。例えば、算数・数学について、小学校高学年からの学習内容を身につけていないとその後の理解が難しいことから、ドリルを使ってすでに学習したことの定着を把握していくなど、小学校で学ぶこと、中学校で学ぶこと、といった区分けにこだわらず「ジョイント＝つないでいく」カリキュラムづくりを進めています。また、授業展開や学び方においても9年間を通した授業を通しての学びを意識しています。例として、「児童生徒の問いから出発した展開にすること」、また「小グループの学習で伝え合う場面が必ずつくること」「板書も、今日のめあてや課題を冒頭に書く、など同じようにすること」などが挙げられます。このほか、「ふるさと学習」や、諏訪市の特徴ある教科である「相手意識に立つものづくり科」においても、小中のつながりを大切にしたい9年間のカリキュラムづくりを進

めています。交流分科会においては、対面での交流に加えて、ZoomやTeamsを活用したリモートによる相互の学習発表会や児童会生徒会の会議など、昨年度から行っております。コロナ禍で急激に導入が進んだ1人1台タブレットや、ご寄贈いただいた大型テレビ等、ICT機器の充実が、分離型小中一貫教育を進める力となっています。このように、具体的に試行しながら、来年度から、校舎は離れていても、教育内容が繋がっている、児童生徒が繋がっている、教職員が繋がっている、小中一貫教育の取組を進めてまいります。なお、これらのことを周知するため、分離型小中一貫教育の方向性や教育内容を交えたリーフレットを作成し、12月の広報すわに折り込み、市内全戸に配布する予定です。大きな転換点にある諏訪市の学校教育の現状や、分離型小中一貫教育に対し、市民に関心を寄せてもらえたらと期待していますので、ぜひご覧ください。また、ハード的には南部地区を次の重点地区に定めており、現在、施設整備の手法や施設規模などの検討を進めるべく準備をしているところでございます。最終的には、この計画ができた平成30年から30年間の間に、3校の施設一体型の義務教育学校をつくるべく、歩みをとめずに進めてまいります。

●諏訪市教育委員会・飯島恵子係長

＝この度は城南小学校および上諏訪中学校に大型テレビを寄贈していただきましてありがとうございます。また市内小中学校へ図書カードを寄贈していただきありがとうございます。



大型テレビですが、城南小学校では3年生の児童がオンラインの学習支援サービスの使い方をテレビ画面に映して学習しています。また、音楽会の演奏曲への意欲や思いを深めるためにディズニー映画「リトル・マーメイド」で曲が流れるシーンを鑑賞しイメージしながらリコーダー演奏の練習をしていました。上諏訪中学校におきましても、教室や体育館、会議室等で利用させていただきます。講演会では子供たちが昔の諏訪湖について学び、これからの諏訪湖について考え、物事を成し遂げるために自分たちが何を行動するか、何をやりたいかなど、様々なことを考える機会となりました。ありがとうございます。

◆今後の例会日程

11/25(金)	準法定休日
12/2(金)	クラブフォーラム (2022年を振り返って)
12/9(金)	クラブフォーラム (年次総会)
12/16(金)	クラブフォーラム (会員卓話)
12/23(金)	夜間例会 (クリスマス例会)